

## 令和5年度 第1回いじめアンケートの実施結果について

1 調査期間 令和5年6月26日（月）～7月3日（月）

2 調査対象 本校在籍生徒 990名

3 調査方法

- (1) アンケートは秘匿性を鑑み、classi アンケート機能を活用
- (2) 詳細な実態把握のため、「いじめ」を受けた時期は限定せずに実施

4 調査結果

「過去にいじめを受けた経験がある」と回答した生徒が130名（13.1%）いたが、全て本校入学以前の事案であった。そのうち、「今も苦痛を感じている」と回答した生徒32名については面談を実施し、27名は誤回答と判明。残る5名については加害者とは一定の人的関係にあらず、かつ「苦痛を感じたことがある」生徒（「苦痛を感じてから3カ月以上が経過している」生徒4名、「苦痛を感じてから3カ月未満である」生徒1名）であることが判明。現在は穏やかに学校生活を送っているとのことであった。そのため、少しでも不安を感じたらすぐに相談する旨を伝え、学校としては継続して注視していくこととした。

5 いじめ認知件数 0件

6 今後について

「いじめは許されない行為である」ことを授業や日常生活を通して周知すると同時に、LHR等を活用して「いじめの未然防止、早期発見、早期対応、再発防止」のための様々な措置を継続。第2回いじめ調査については令和6年1月に実施予定。